

AC・Net ニュース

NO. 146
2006年
10月16日

Human Network for Researchers toward Advanced Telecommunications

中秋の候、皆様には益々ご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。

10月に行われました神戸大学海事科学部海事博物館・附属練習船深江丸の見学会には多数の参加をいただき、おかげ様で大変好評でした。

次回11月の例会は、(財)近畿移動無線センター共催で「情報通信のバリアフリー」をテーマに講演を下記の通り予定しておりますので、皆様ふるってご参加いただけますよう、ご案内申し上げます。

☆11月例会のお知らせ

日 時： 2006年11月8日(水)

会 場： 大阪新阪急ホテル 2F

講演会： 15:00～17:00 「月の間」

「情報・通信機器の『使いやすさ』を考える」

立命館大学情報理工学部メディア情報学科

教授

樋口 宜男 氏

「モバイル環境での情報と移動のバリアフリー」

独立行政法人 情報通信研究機構

知識創成コミュニケーション研究センター

副研究センター長

猪木 誠二 氏

懇親会： 17:15～18:30 「星の間」

☆次回例会のお知らせ

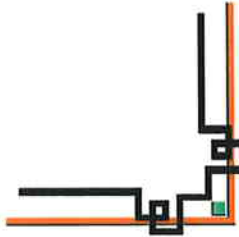
12月の例会はお休みさせていただきます。

1月の例会については、メールとHP・次号AC・Netニュースでご案内します。



第163回 AC・Net 例会（11月8日）

共催：(財)近畿移動無線センター
協賛：けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会



【講師】 樋口 宜男 氏
立命館大学情報理工学部メディア情報学科
教授

【演題】 「情報・通信機器の『使いやすさ』を考える」

【概要】

今日情報・通信機器は急速な進歩を遂げており、その機能をうまく使いこなせるか否かによって生活の便利さに大きな差が出てくると言っても過言ではない状況になっています。そうした状況の下で、高度化した情報・通信機器を使うことに抵抗を感じている利用者が多数存在するのも事実です。抵抗を感じない理由は利用者自身の「難しそう」という思い込みもありますが、それ以外に機器設計上の問題も多数存在します。そこで、多くの情報・通信機器の中から使用頻度の高いパソコンと携帯電話を対象として、これらの諸問題を視覚・聴覚・体性感覚・認知などの側面から考えてみたいと思います。

【略歴】

1954年 山梨県八代町（現笛吹市）生まれ。現在 笛吹市ふるさと大使。1歳で小児まひに罹り、下肢に障害。1977年 東大・工・電子卒。1982年 東大大学院・工学系・電気博士課程修了。工学博士。1982年～2002年の約20年間 KDD および KDDI の研究所に在籍し、音声合成・音声認識の研究開発に従事。その間の1993～1997年の4年半、ATR 音声翻訳通信研究所在籍、同研究所第2研究室（音声合成・韻律制御担当）室長。2002年から立命館大学理工学部情報学科、2004年から同情報理工学部メディア情報学科教授。情報バリアフリー研究室担当。

【講師】 猪木 誠二 氏

(独) 情報通信研究機構

知識創成コミュニケーション研究センター

副研究センター長

【演題】 「モバイル環境での情報と移動のバリアフリー」

【概要】

高齢者・障害者は情報から阻害されている。特に、聴覚障害者は外出時のコミュニケーションに大きな問題を抱えている。解決策のひとつとして、位置に応じた手話アニメーションでの情報提供を博物館での実験をひとつの例として紹介する。

次に、情報通信技術を用いた高齢者・障害者の自立的移動支援技術について紹介する。街角の道路情報を取得する「環境端末」と人を載せて街を動き回る「ユーザ搭乗型移動端末」が連携して高齢者の移動を支援するネットワークロボットとしてのシステムと、ロボット特区に指定されたけいはんな学研都市で行った公道走行実験を紹介する。また、ユーザが目的地まで快適に行くルートが検索できる「歩行者移動支援 GIS (地理情報システム)」についても紹介する。

【略歴】

1973 名古屋工業大学 工学部計測工学科 卒業

1975 名古屋工業大学 大学院工学研究科 計測工学専攻 修士課程 修了

1975 郵政省電波研究所 (現情報通信研究機構) 入所

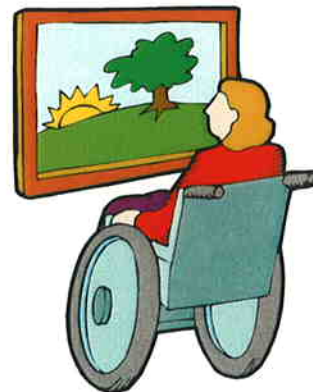
1987 郵政省通信総合研究所 太陽電波研究室長

1995 ユニバーサル端末研究室長

2006 情報通信研究機構

知識創成コミュニケーション研究センター 副研究センター長

現在に至る



*AC・Net9月講演会 ～講演会のアンケートから～

演題：「光ファイバ伝送のさらなる可能性」

講師：大阪大学大学院 電気電子情報工学専攻 助教授
丸田 章博 氏



演題：「光の多次元性を活かす信号処理」

講師：大阪大学大学院 生命先端工学専攻 助教授
小西 毅 氏



- 光信号の高速信号処理の進展は目を見張るほどの素晴らしい技術を確認していると感心した。
- 光ファイバーの施工ー運用上必要となる技術であることがよくわかった。

*AC・Net10月見学会 神戸大学海事科学部海事博物館・附属練習船深江丸

演題：「海上における遭難通信システム～SOS

(無線通信) から GMDSS(衛星・デジタル通信)へ～」

講師：神戸大学海事科学部 海洋情報科学講座 助教授
若林 伸和 氏



演題：「船舶における通信の現状と将来」

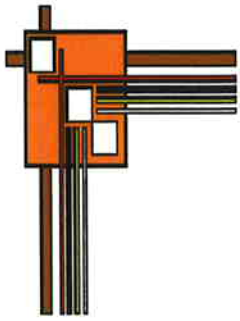
講師：古野電気(株) 船機営業企画部 課長
荻野 市也 氏



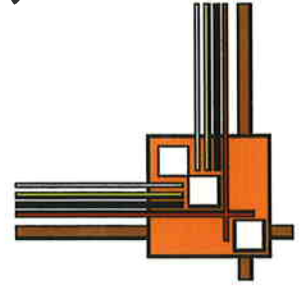
- 海事博物館の見学、深江丸船長から現在の海事関係の状況を興味深く聴いた。
- 今回の AC・Net 見学会はあいにく小雨となりましたが、明石海峡大橋を通過する時は雨もやみ、ダイナミックな風景をデッキの上から見ることができました。また、日頃入る機会の無いブリッジでいろいろな体験もすることができました。講演についても非常に興味深い内容で、とても素晴らしい見学会でした。



AC・Net事務局： 〒 651-2492 神戸市西区岩岡町岩岡 5 8 8 - 2
独立行政法人 情報通信研究機構 未来 ICT 研究センター内
TEL 078-969-2132 FAX 078-969-2119
E-mail acnetjimukyoku@po.nict.go.jp
HP : www-karc.nict.go.jp/ACnet



情報通信技術研究会(AC・Net) 第163回例会のお知らせ (財)近畿移動無線センター共催



情報通信技術研究会
運営委員長 益子 信郎

記

1. 日 程 2006年11月8日(水)
2. 会 場 大阪新阪急ホテル
〒530-8310
大阪府大阪市北区芝田 1-1-35
TEL. 06-6372-5101・FAX. 06-6374-6885

3. 講演会 15:00～17:00 「月の間」(2F)

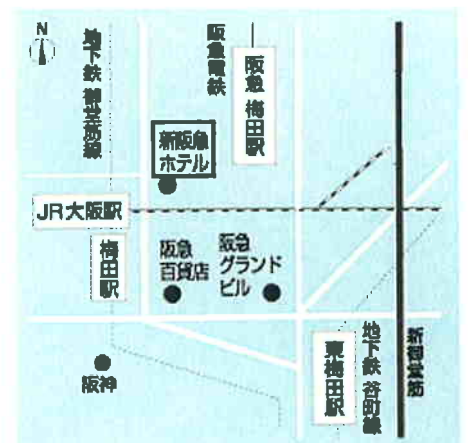
「情報・通信機器の『使いやすさ』を考える」
立命館大学情報理工学部メディア情報学科
教授
樋口 宜男 氏

「モバイル環境での情報と移動のバリアフリー」
(独) 情報通信研究機構
知識創成コミュニケーション研究センター
副研究センター長
猪木 誠二 氏

4. 懇親会 17:15～18:30 「星の間」(2F)

5. 会場までのご案内

<交通> JR 大阪駅下車
阪急・阪神・地下鉄梅田駅下車



宛先：情報通信技術研究交流会（AC・Net）事務局
（E-mail acnetjimukyoku@po.nict.go.jp ・ FAX: 078-969-2119）

2006年 月 日

11月8日（水）第163回 AC・Net 例会参加申込み （財）近畿移動無線センター共催

けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会協賛

会場：大阪新阪急ホテル「月の間（講演会）・星の間（懇親会）」
〒530-8310 大阪市北区芝田 1-1-35
TEL. 06-6372-5101・FAX. 06-6374-6885

講演1：「情報・通信機器の『使いやすさ』を考える」
立命館大学情報理工学部メディア情報学科 教授
樋口 宜男 氏

講演2：「モバイル環境での情報と移動のバリアフリー」
（独）情報通信研究機構
知識創成コミュニケーション研究センター
副研究センター長
猪木 誠二 氏

下記の通り参加を申し込みます。

	該当（参加）のところに○をご記入ください。	例会（講演会） 15:00～17:00	懇親会 17:15～18:30
氏名			
所属			
種別	AC・Net会員	けいはんな情報通信オープンラボ 研究推進協議会会員	非会員

例会無料。懇親会のみAC・Net会員外の方は2000円を当日会場で徴収させていただきます。

・その他事務局への連絡事項

・今後の講演でご希望（講師・テーマ）等があればお書き下さい